

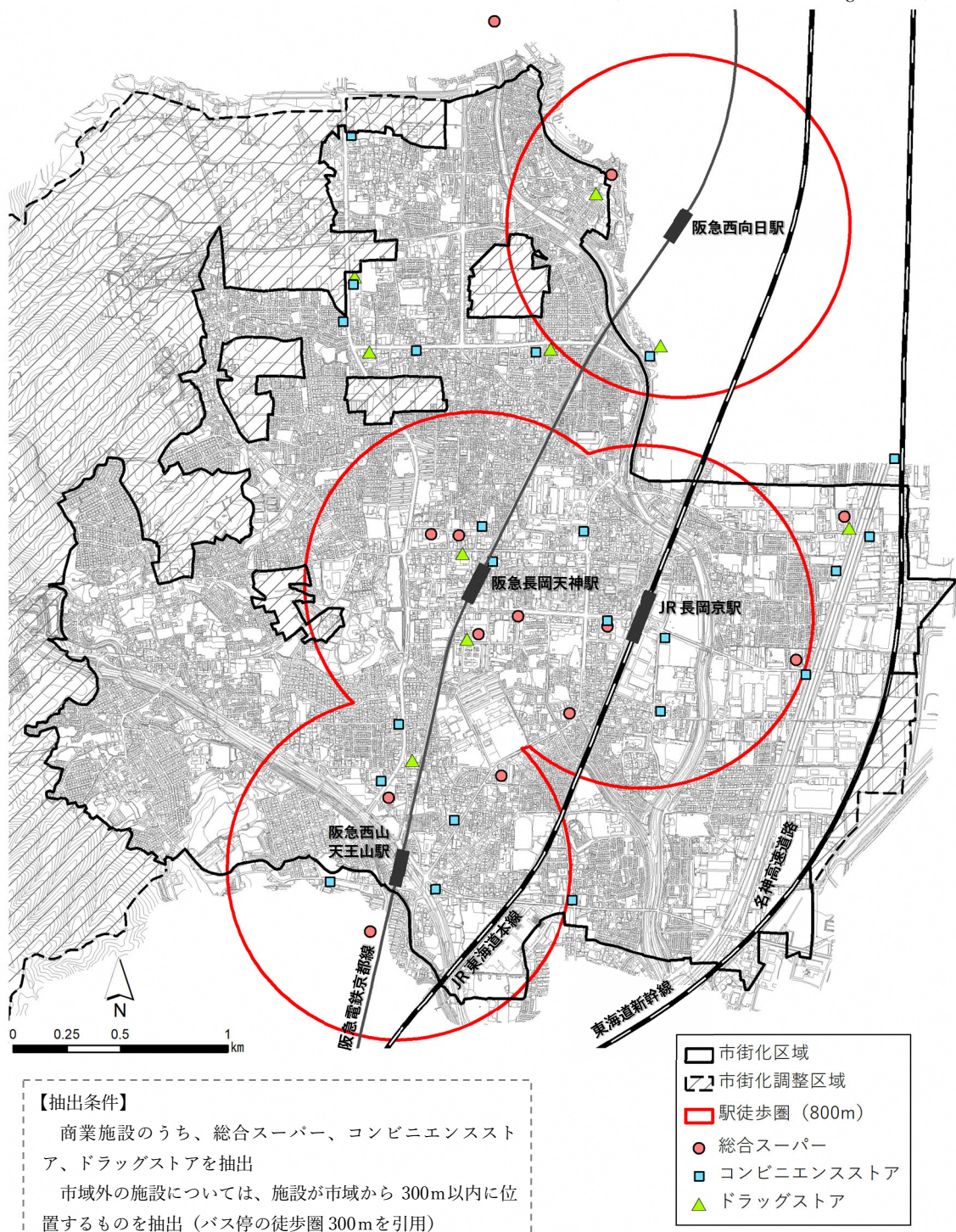
⑥ 商業施設

a) 立地状況

- ・商業施設は、主に駅周辺や主要な幹線道路沿道に立地しており、市街地西側の住宅地内には立地していません。

	総合スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア
2015 年	15 ヶ所	23 ヶ所	7 ヶ所
2020 年	13 ヶ所	22 ヶ所	9 ヶ所

(出典：iタウンページ、Google マップ)

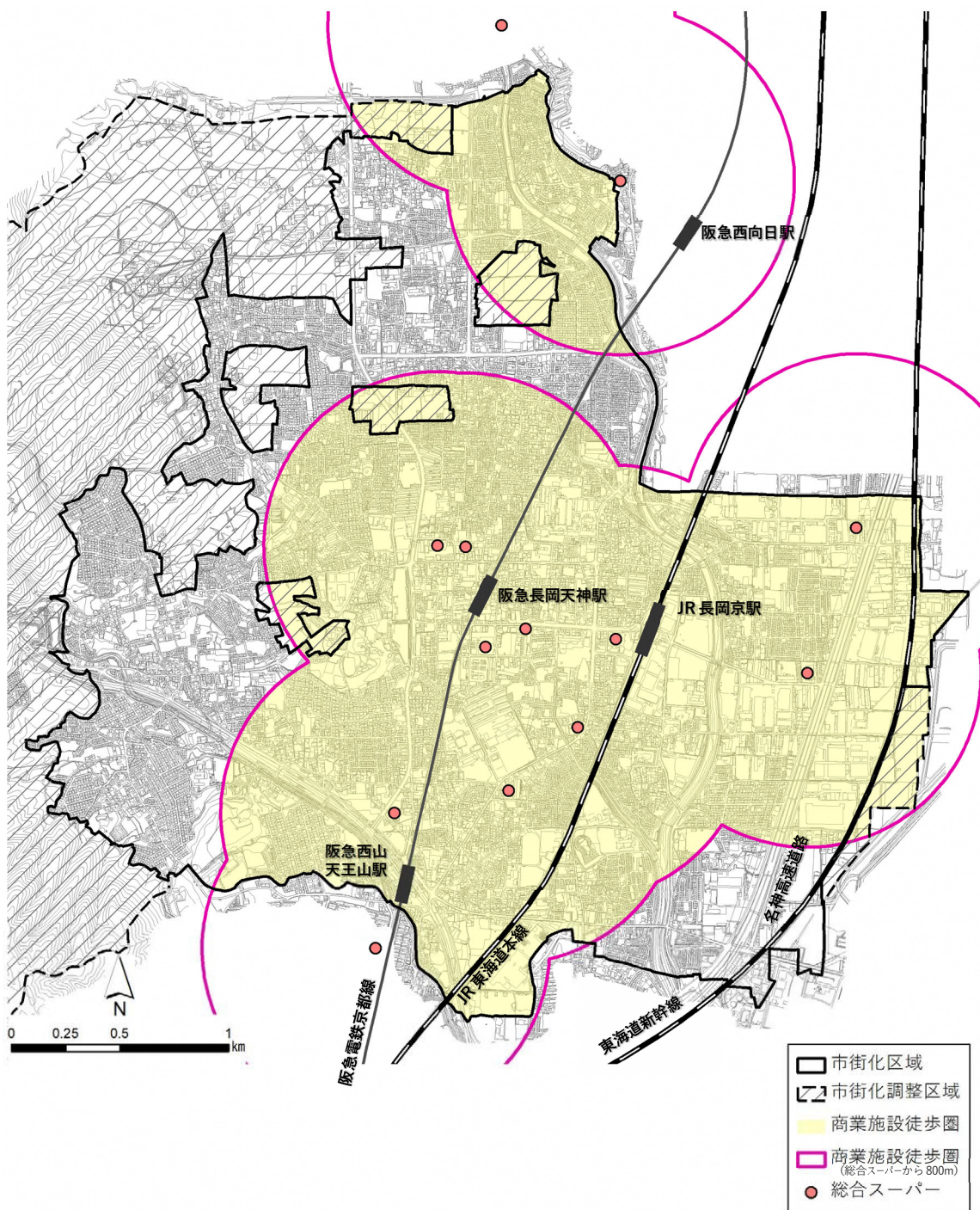


■商業施設（総合スーパー）の徒歩圏人口カバー率※1

	人口総数	徒歩圏人口	徒歩圏人口 カバー率※1	全国 平均	三大都市圏※2 平均
2015 年	80,658 人 (2015. 10)	59,290 人	74%	75%	83%
2020 年	81,043 人 (2020. 10)	55,787 人	69%	49%	74%

※1 商業施設（総合スーパー）から半径 800m の圏域内人口を総人口で除して算出

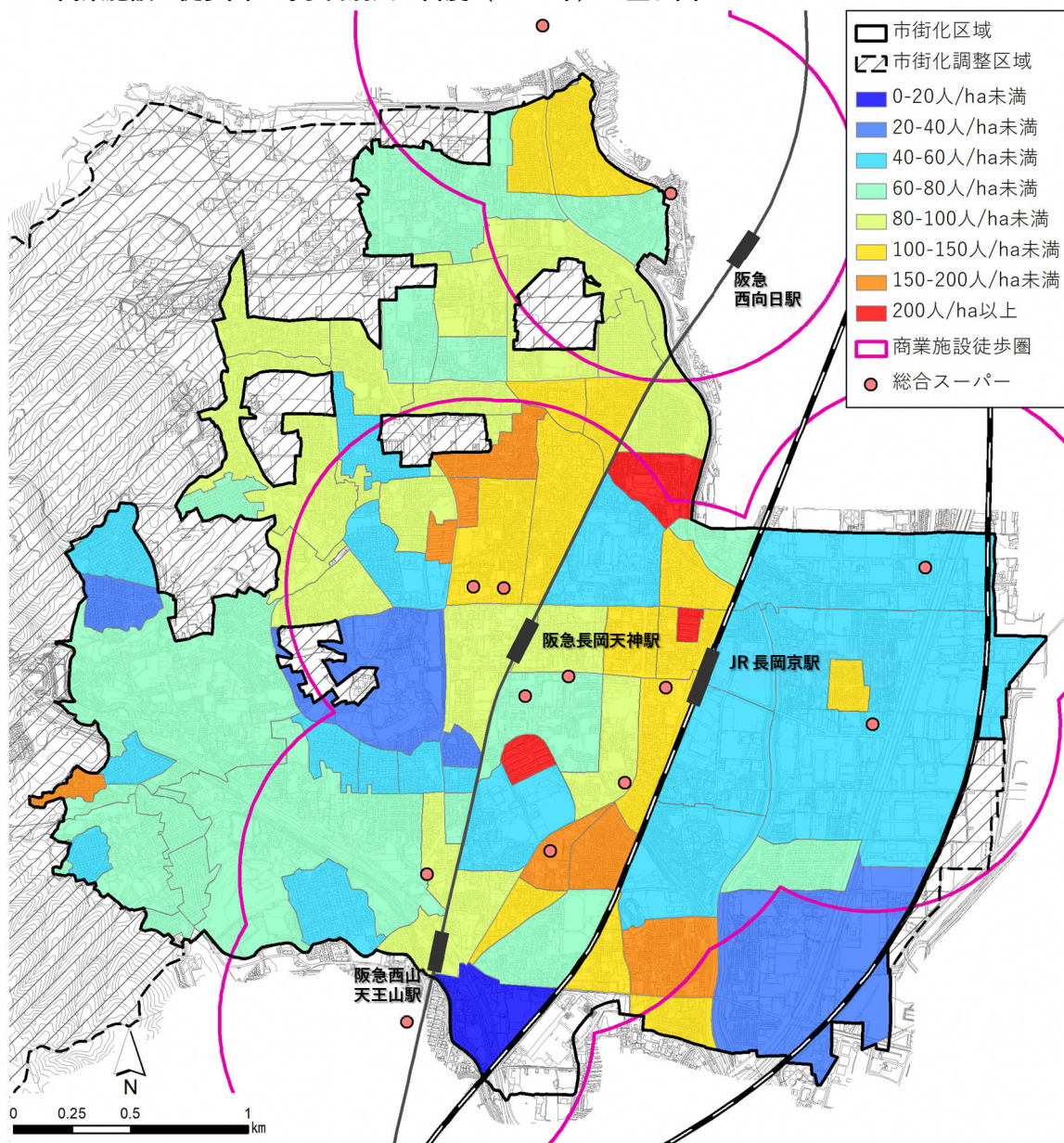
※2 三大都市圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県



b) 施設立地の将来見通し

- ・商業施設の徒歩圏人口カバー率※1は、現状（2020年（令和2年））及び将来（2040年（令和22年））においても高い水準です。また徒歩圏内の人口密度※2は、人口減少に伴い将来において低下しますが、比較的高い水準を維持すると想定されます。
- ・ただし、施設の利用者数が減少することで、現在の商業施設の存続が困難になる恐れもあります。

■商業施設の徒歩圏と町丁目別人口密度（2040年）の重ね図



項目	商業施設			増減(2020 ～2040年)	三大都市圏※3 平均	全国平均
	2015年	2020年	2040年			
徒歩圏人口(人)	59,290	55,787	51,000	-4,787		
徒歩圏人口カバー率(%)	74	69	69	0	74	49
徒歩圏人口密度(人/ha)	79	77	70	-7	58	23

※1 商業施設（総合スーパー）から半径800mの圏域内人口を総人口で除して算出

※2 商業施設（総合スーパー）から半径800mの圏域内人口を圏域内町丁目面積で除して算出

※3 三大都市圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県

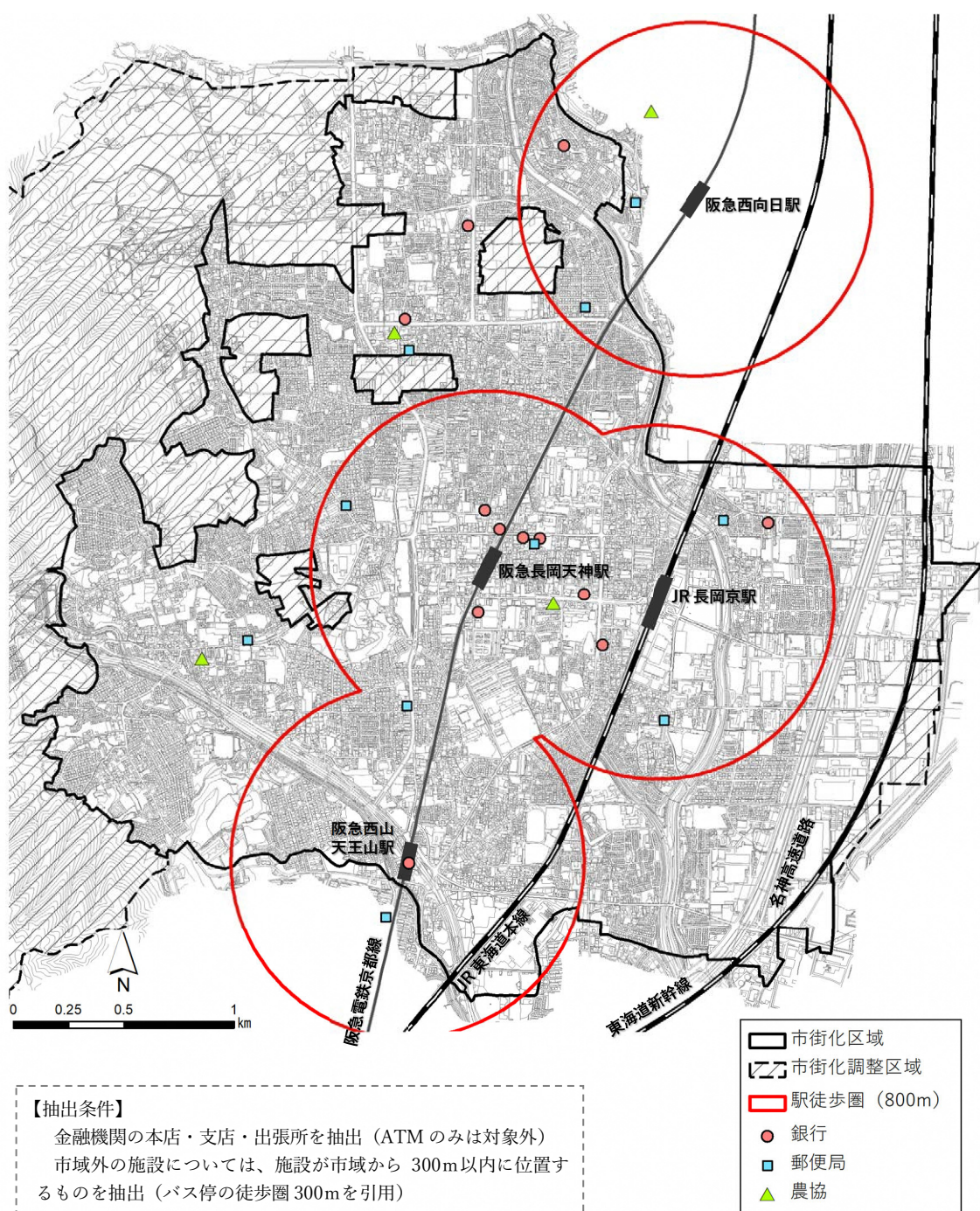
⑦ 金融機関

a) 立地状況

- ・金融機関は、特に阪急長岡天神駅付近に集積しています。郊外では郵便局や農協などが立地しています。

	銀行	郵便局	農協
2015 年	11 ケ所	8 ケ所	4 ケ所
2020 年	12 ケ所	10 ケ所	4 ケ所

(出典：iタウンページ、Google マップ)



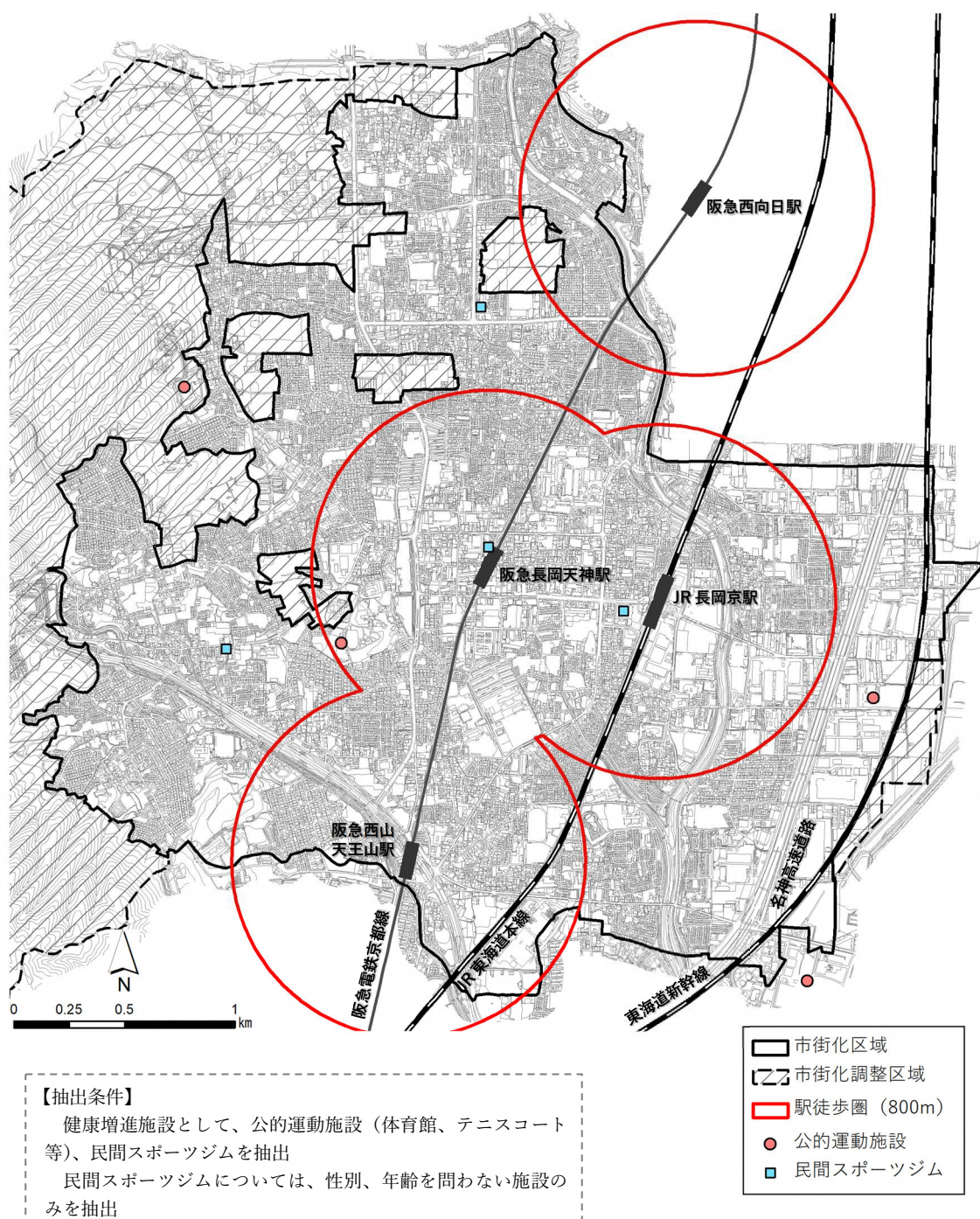
⑧ 健康増進施設

a) 立地状況

- ・健康増進施設は、市街地に点在しています。

	公的運動施設	民間スポーツジム
2015 年	4 ケ所	2 ケ所
2020 年	4 ケ所	4 ケ所

(出典：長岡京市 HP、i タウンページ、Google マップ)



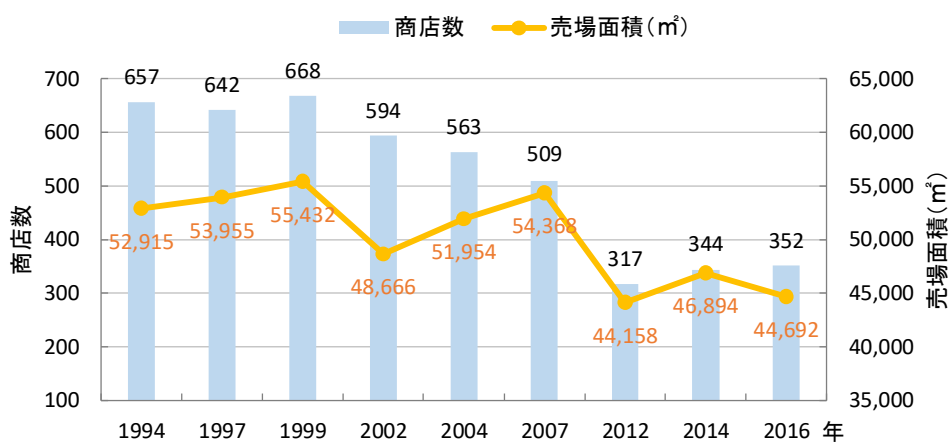
(5) 経済活動

① 商業（小売業）の動向

- ・市全体では小売商店数、売場面積ともに2012年（平成24年）までは減少傾向、その後は横ばい傾向にあります。また、1店舗あたり、1㎡あたりの年間商品販売額は増加傾向にあります。

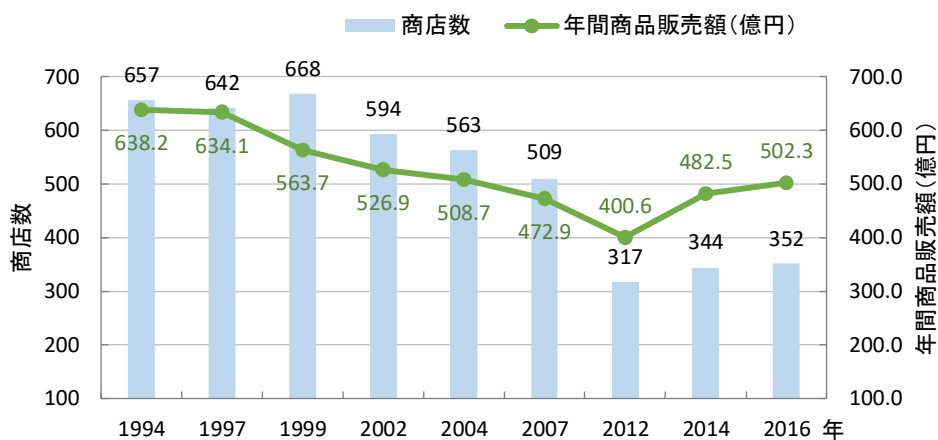
■市全体の小売商店数と売場面積の推移（1994～2016年）

（資料：商業統計調査、平成24年・平成28年経済センサス（活動調査））



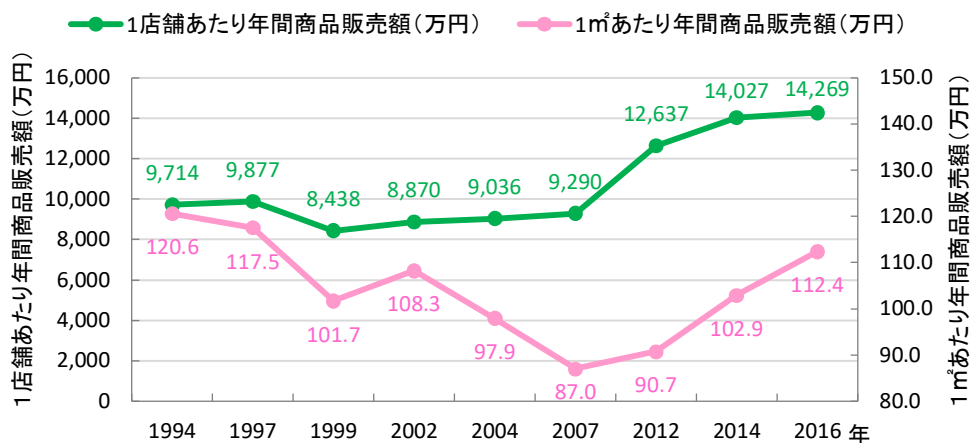
■市全体の小売商店数と年間商品販売額の推移（1994～2016年）

（資料：商業統計調査、平成24年・平成28年経済センサス（活動調査））



■1店舗及び1㎡あたり年間平均商品販売額の推移（1994～2016年）

（資料：商業統計調査、平成24年・平成28年経済センサス（活動調査））



(6) 地価

- ・「中心部商業地」、「中心部住宅地」、「郊外部高台住宅地」での地価の動向は、各地点ともに、1991年（平成3年）から1993年（平成5年）にかけて急激に下落し、その後も2004年（平成16年）までは下落傾向にあります。特に中心部商業地の下落率が高くなっています。
- ・2004年（平成16年）以降は、各地点とも概ね横ばいでしたが、近年は、中心部商業地、中心部住宅地において上昇しています。

■地価の動向（1991年を1.0とした変動率：1991～2020年）（出典：地価公示）

